

自己注射説明書

医師、看護師から自己注射説明を受け、注射器や薬の取り扱い、注射方法を習得した場合、「排卵誘発注射」はご自身で実施することが出来ます。来院回数を減らし、患者様のご負担の軽減に有効な方法です。

1) 注意事項

- ・ 自己注射の方法に関しては「注射の仕方」の動画を必ずご覧ください。
- ・ 注射薬の保管方法について：注射によって保存方法が異なります。

冷蔵保存：ゴナールF ペン、レコベル、フォリスチム、フォルルモン、HMG フジ

HMG「あすか」、オビドレル

常温保存：ガニレスト

- ・ 処方された当日に院内でスケジュール表と注射薬、注射針、注射器の数が正しいか確認して下さい。
- ・ 注射後、体調不良がみられる場合は、必ず当院にご連絡下さい。(緊急時は 7119)
- ・ 院外での破損・紛失は自己責任となり、再度自費で購入して頂くこととなります。また、自宅での針刺し事故、外傷につきましても自己責任となりますので取り扱いにはご注意ください。一旦お持ち帰りになった薬剤の返却はできません。
- ・ 使用済みの注射器、注射針は採卵時に当院で回収します。(廃棄ボトルに入れて持ってきて下さい。)
- ・ 自己注射の実施は、医師の指示および看護師の説明を受けた患者本人に限ります。
- ・ 医師の指示、および看護師の説明を受けて頂けない場合、自己注射の実施をお断りする場合や治療が不成功に終わる可能性があります。
- ・ 患者様の個人情報情報は個人情報保護法及び、当院の規定で取り扱います。治療経過に関する情報は個人が特定されない形で日本産科婦人科学会や他学会へ報告することがあります。

2) 副作用・合併症

- 出血 : 針やアンプルでの怪我や針を刺した部分から出血することがあります。
- 内出血 : 針が組織を通過する際や、血管を貫通した際に出血斑が残る場合があります。
- 神経損傷 : 針を刺した時に、拡がる痛み・しびれなどが起こり、一定時間経過した後も持続する場合があります。
- その他 : 消毒綿による過敏症やテープかぶれなど皮膚症状や薬剤へのアレルギー症状(発赤、かゆみ)が出現することがあります。

医療法人社団愛慈会

理事長 松本玲央奈

MLC-1121-1 202409114033